

アクション！SDGs ステークホルダー会議 20214

エコロジーオンライン

上岡 裕

進行

- エコロジーオンラインのSDGs活動の紹介
アクション！SDGs
 - ①マダガスカル支援
 - ②SDGsラジオ
 - ③地域SDGs推進（#にゃんこSDGs）
 - ④東大との連携、視覚障がい者支援、ジェンダー平等…
- 皆様からのご質問、提案

進行

- エコロジーオンラインのSDGs活動の紹介
アクション！SDGs
 - ① マダガスカル支援
 - ② SDGsラジオ
 - ③ 地域SDGs推進（#にゃんこSDGs）
 - ④ 東大との連携、視覚障がい者支援、ジェンダー平等…
- 皆様からのご質問、提案

貧困も、飢餓も、エネルギーも同時に！ 国連3団体と栄養改善事業を実施予定

マダガスカルは、5歳未満児の発育障害（年齢に不相当な低身長）の割合が約42%と世界で10番目に高く、5歳未満児の死亡原因の44%以上は栄養不良となっています。特に、同国ではコメ偏食による必須栄養素の不足、食品加工・貯蔵等の不備による高栄養価食品の不足、不衛生な飲料水や習慣（屋外排泄、手洗い未実施）等による下痢の頻繁な発生が生じており、子どもの栄養不良が喫緊の課題となっています。日本国政府による国連食糧農業機関（FAO）への無償資金協力で実施される農業、水・衛生、教育のマルチセクターアプローチに参画し、子どもの栄養改善を図り、マダガスカルの保健サービスの改善に寄与することを目指します。現在、FAO、ユニセフ、WFPとの協働の打合わせが始まりました。



life
くらし

自然破壊の先に感染危機

新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっている。日本は緊急事態宣言が解除されましたが、アフリカや中南米など新興国・発展途上国では感染拡大が続いています。私が理事長を務めるNPO法人「エコロジーオンライン」が支援をするマダガスカルも、他の上国と同様に貧しい地域では清潔な水や消毒薬が手に入りません。社会格

コロナ後は緑の復興を

新型コロナウイルスは、コウモリが持つていたコロナウイルスが野生動物を売買する武漢の生鮮市場で人間に感染したと考えられています。こうした行為を規制しない限り、今後も新たな「人獣共通感染症」が生まれる可能性は否定できません。

さらに、私たちが豊かさや求めて自然を破壊すれば、野生動物たちはすまかを求めて人の暮らし

領域に侵入します。その過程でニワトリや豚などの家畜に近づけば動物から動物へとウイルスが感染し、私たちの元にたどり着きます。

ここで問題となるのが地球温暖化です。昨年夏から数カ月間にわたり、オーストラリアで大規模な森林火災が起きました。日本の面積の約半分にあたる19万平方キロが焼失し、10億匹以上の動物が犠牲になったと伝えられました。こうした山火事が頻発する背景には、人為的要因の温暖化による土地の乾燥があるという研究もあります。地球温暖化によって永久凍土が

NPO法人「エコロジーオンライン」理事長・上岡裕さん(佐野出身)



かみおか・ゆたか 1960年佐野市生まれ。レコード会社勤務を経て、2000年に同市植上町でNPO法人「エコロジーオンライン」を設立。インターネットでの情報発信を核に地球温暖化防止と自然エネルギーの普及などを手掛ける。新型コロナウイルスを巡るマダガスカル支援では、クラウドファンディングで資金を募り、現地NGOなどと連携して感染予防物資を配布する活動を行った。



マダガスカルの小学校で、配布された蛇口付きポリタンク、石けん、紙タオルなどの「手洗いセット」を使う子どもたち(上岡裕さん提供)



長く地球環境保護に関わって思うのは、私たちが自然と共生する哲学を持たなければ、異常気象や感染症などの危機を止めることができないということです。コロナ後の世界の復興は、地球温暖化を抑制する脱炭素型の技術や再生可能エネルギーの推進を柱にする「グリーンリカバリー(緑の復興)」しかないと思っています。

エコロジーオンラインがクラウドファンディングで募った資金で調達されたマスクを着けたマダガスカルの少女(上岡裕さん提供)

問題

環境問題、感染症、紛争は地球規模の問題であるが、こういった問題とあなた自身との関係について、資料1～3を参考にしつつ論じなさい。

資料1 国連事務総長が即時停戦呼び掛け 紛争地に「新型コロナと戦おう」(抜粋)
共同通信、2020年3月24日 (<https://this.kiji.is/614973314124645473>)

国連のグテレス事務総長は23日、新型コロナウイルスの感染が拡大する中「紛争地では医療制度が崩壊している」と指摘し「世界中のあらゆるところでの即時停戦を求める。戦争という痛を終わりにし、世界を苦しめている病氣と戦おう」と呼び掛けた。(中略)「紛争で居場所を追われた難民らは二重の意味で脆弱だ」と訴え、人道支援を可能にする環境づくりや停戦に向けた外交努力が重要だと強調した。

資料2 温暖化と国際協力(抜粋)

『世界』2019年2月号(岩波書店)中村哲『大旱魃に襲われるアフガニスタン』

戦争は最大の消費かつ浪費である。紛争の遠因が貪欲な経済活動や地球温暖化、旱魃と関係しあっているなら、その取り組みを通して、世界の融和と安定に寄与することにもなる。「テロに屈せず」と称していたずらに拳を挙げるのはもはや時代にそぐわず、解決にならない。おそらく温暖化とその対策は人類史的な分岐点である。それは、近代的生産を支えてきた我々の価値観自身を、やがて根源的に問うものとならざるを得ないからだ。

地球規模で進行する冷厳な事実を考えると、我々の進むベクトルがいずれに向いているかで、破滅か安定かの道筋が決まっていくのであろう。その意味で、アフガニスタンの大旱魃は極東の我々にとっても、決して他人事ではない。我々が旱魃の地で「人と人の和解、人と自然の和解」を説く理由もここにある。

資料3【新型コロナウイルス】地球環境破壊が生み出す人獣共通感染症の恐怖(抜粋)
エコロジーオンライン 2020年3月25日 (<https://www.eco-online.org/sdgs-2020-3-25/>)

コロナウイルスを宿すコウモリたちも、自然のなかにいれば自然の希釈効果も手伝って、害をもたらすことはない。人間から自然に近づくか、自然から人間に近づくような状態を避ければ、病原体との接触は防げるだろう。私たち人間がコウモリの生息する自然環境を破壊すれば、ストレスを抱えたコウモリが生まれ、ヒトの住む町へとエサを求めて近づいてくる。こうして新たな「人獣共通感染症」が生まれる。その感染症がグローバル化した経済によって世界に撒き散らされる。それが今回のパンデミックを生み出した基本的な構図となる。

そこに追い打ちをかけるのが自然を破壊することによって加速する地球温暖化。温暖化は動物たちの生息域を大きく変え、熱帯性の動物たちが北上するきっかけをつくる。それによって熱帯性の感染症が世界に広がるきっかけとなる。私たちは自然を破壊することで多くの利益を得る。だが一方、新型コロナウイルスのような多くの不利益も生じてくる。私たちが日先の利益だけを追い求めていたら、この地球上で持続的な暮らしを営むことは難しい。

進行

- エコロジーオンラインのSDGs活動の紹介
アクション！SDGs
 - ①マダガスカル支援
 - ②SDGsラジオ
 - ③地域SDGs推進（#にゃんこSDGs）
 - ④東大との連携、視覚障がい者支援、ジェンダー平等…
- 皆様からのご質問、提案

「おしえて！SDGs」企画概要

コンセプト

国連が主導し2030年までの達成のために、各団体・各人が向き合っている「SDGs」。

その理念や17の目標・169のターゲットについての認知度がようやく高まりつつあります。

しかしながら、「アタマで理解はしていても、日々の生活において意識する機会は少ない」

「遠い国・遠い未来の、自分には関係のない話」と捉えられてしまう機会も少なくないのでは。

本コーナーは「SDGsについて正直あまりよく知らない」と語るハピモニ金曜日パーソナリティ小谷大輔が

私たちの日常生活にひそむSDGs実現のためのヒントについてリスナーと一緒に学んでいきます。

私たちがやりたいこと

- 全国でSDGsに注力している企業や活動家にスポットを当て紹介していきたい
- 「日常でのふとした動作や疑問がSDGsにつながる」ということを周知していきたい
- 説教くさくなく、面白くSDGsについて伝えていきたい

SDGsについて真剣に取り組む”輪”を広げていく一助となれたら本望です。

出演者

小谷大輔／上岡裕(エコロジーオンライン理事長)

放送日時

毎週金曜日 9:07～9:23頃(コーナー途中／終了時に楽曲を挿入予定)

最大ネット局数

9局ネット予定

放送局一覧

FM青森 FM岩手 FM秋田 FM山形 FM富山 FM石川 FM山陰 FM広島 InterFM897 (2021年4月以降予定)



パーソナリティ
小谷大輔



ジャパンエフエムネットワークとは

「おしえて！SDGs」企画概要【OH! HAPPY MORNING】

ジャパンエフエムネットワークとは

TOKYO FMなど全国の県域FMからなる日本最大の民放38局ネット

ワーク

JFN38局一覧

AIR-G(北海道)	FM-NIIGATA	FM大阪	FM FUKUOKA
FM青森	FM長野	Kiss FM KOBE	FM佐賀
FM秋田	K-MIX(静岡)	FM岡山	FM長崎
FM岩手	FMとやま	FM山陰	FM熊本
Date fm(宮城)	FM石川	広島FM	FM大分
FM山形	FM福井	FM山口	FM宮崎
ふくしまFM	FM岐阜	FM香川	FM鹿児島
TOKYO FM	FM AICHI	FM愛媛	FM沖縄
FM GUNMA	FM三重	FM徳島	
RADIO BERRY(栃木)	FM滋賀	FM高知	

InterFM897

JFNを活用することにより、
ほぼ全国のエリアのカバーが可能です。
地域ごとの展開からスケールを活かした展開まで、
ご要望に応じてフレキシブルに対応します。

主な事業内容



ラジオ番組制作



広告代理店事業



イベント企画・制作



タレントマネジメント

《 ジャパンエフエムネットワークの強み 》

■ 全国ラジオの強みを活かした放送・広告展開

■ 番組を軸としたコンテンツマーケティング

■ タレント事務所・音楽レーベルとのコネクション

制作・広告プランニング・イベント運営・タレントマネジメントまで
統合的に行う音声業界を代表するソリューションカンパニー

■JFN制作番組 出演者一例



有吉弘行



GENERATIONS from EXILE TRIBE



あ〜ちゃん(Perfume)



川谷絵音



杉咲花



ハナコ



落合陽一



高橋ひかる



いきものがかり



伊藤 沙莉



サンボマスター



武井壮



上野樹里



きゃりーぱみゅぱみゅ

JFN最大18局ネット【毎週月曜-金曜 7:30~10:55】

朝帯情報エンターテインメント番組

OH! HAPPY

MORNING

番組企画書

「OH! HAPPY MORNING」番組概要

番組概要



あたり前の日常の中にこそ幸せは詰まっている！ラッキーは続かないがハッピーは続けられる！

『OH! HAPPY MORNING』は、せわしい朝の始まりを快活にハッピーに過ごせるように、絶幸朝（ぜっこうちょう）！をモットーにした、情報エンターテインメント番組です。

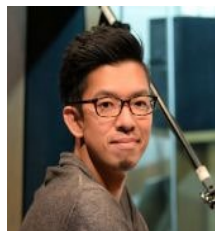
番組タイトル	OH! HAPPY MORNING（オー！ハッピーモーニング）
放送日時	毎週月～金曜日 7:30～10:55 ※放送局によって異なります。
最大ネット局数	月曜～木曜19局・ 金曜13局 （金曜9時台：9局予定） ※曜日・時間帯によりネット局は異なります。
放送局一覧	FM青森 FM岩手 FM秋田 FM山形 FM福島 FM長野 FM富山 FM石川 FM岐阜 FM三重 FM山陰 FM岡山 FM香川 FM徳島 FM佐賀 FM長崎 FM大分 FM広島 InterFM897 ※2021年3月時点

パーソナリティ

今年13年目を迎えたJFN朝の人気看板番組。DJ・パーソナリティ事務所のエース級が看板を務めております！

月曜&火曜パーソナリティ

井門宗之



1977年5月14日生まれ
#フリーアナウンサー
#ラジオパーソナリティ
#競馬 #カレー作り
#食べ飲み歩き #旅

森藤恵美



1977年12月27日生まれ
#セントフォース所属
#芸術鑑賞 #食べ歩き
#英・仏会話
#野球

水曜&木曜パーソナリティ

蒲田健



1966年3月19日生まれ
#パーソナリティ/ナレーター
#タイムリーオフィス所属
#フィギュアスケート会場アナウンス #サッカー・ラグビースタジアムDJ

高橋茉奈



1992年12月4日生まれ
#パーソナリティ/アナウンサー
#ホリプロ所属
#フェレット育成
#坂道アイドル研究
#温泉巡り #ギター

金曜パーソナリティ

小谷大輔

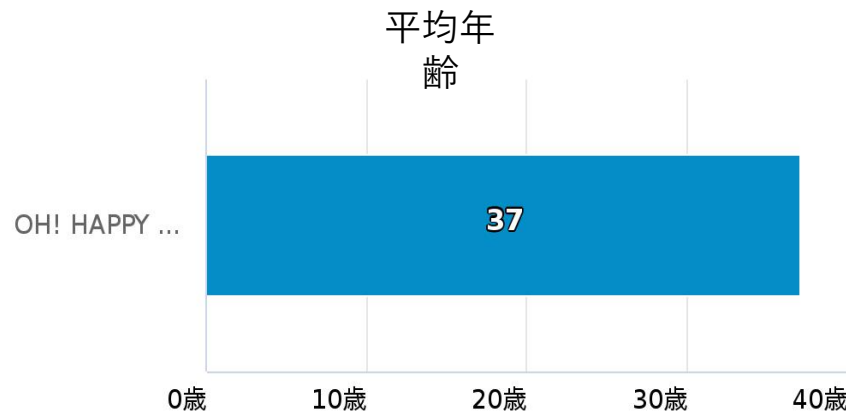
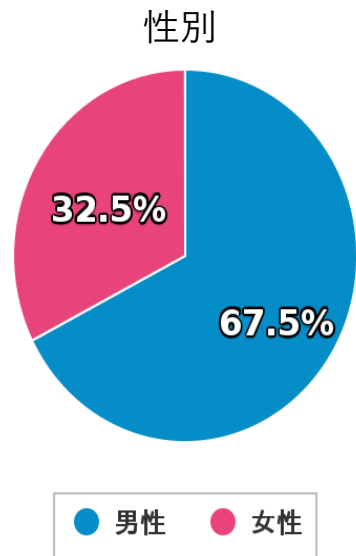


1979年4月22日生まれ
#パーソナリティ/ナレーター
#オフィスキーワード所属
#映画鑑賞 #ガンダム
#スケート #ものまね
#動物

リスナーデータ



フォロワー数 (3月下旬現在)
23,000人



※Twitterデータ (SNS分析ツール「Social Insight」2020年12月)

※出演者/演出方法によっては、出演費が追加になる場合がございます。

※広告主・商品内容・生CM原稿に関する考査を受けていただく必要があります。各局の考査基準により、実施できない局がある場合がございます。

※特番・災害等、編成都合により、実施回数の減少する可能性がございます。その場合の減額・補償はできませんので予めご了承下さい。

□7時台

ニュース：この時間までに入ってきたニュースを紹介。

今日の天気：最新の天気を、ウェザーマップの協力でお伝えします。

□8時台

ニュース：この時間までに入ってきたニュースを（追加も含めて）紹介。

エンタメ情報：今日のエンタメ・ニュース、海外ニュース、スポーツ、ランキングなどを紹介（新譜リリース情報なども含）。

□9時台

●「ヘッドラインニュース」：

今日のニュースを（7時台、8時台に比べ、やや長めに）紹介。

●「TODAY'S FOCUS」（9:10頃～）：

今気になる時事ネタについてコメンテーターとともに深く掘り下げていきます。
ex.「ITの専門家に聞くスマホプランの選び方」「米国大統領選挙の行方」

●「おしえて！SDGs」

（2021年4月以降、毎週金曜日放送予定）

SDGsについて楽しく学びながら、「自分ごと」として実践していくための方法を模索していきます。

●「OH! HAPPY TALK」（9:40頃～）：

毎週各界の著名人、ミュージシャン、タレントをゲストに招き、その人の素顔に迫ります。

10時前のおやつのひと時、カフェ気分で、時に熱く時にさりげないトークに耳を傾けてみませんか？

RADIO BERRY PROPOSAL



RADIO BERRY

SDGs CONNECT

RADIO BERRYが、SDGs推進企業とステークホルダー（消費者、取引先、株主、地域社会など）をつなぎます。「誰ひとり取り残さない」という共通理念のもと、国連加盟193ヵ国が2030年までに達成を目指す17の国際目標と169の具体的な行動目標で構成されるSDGs。日本でも多くの企業がSDGsを宣言し活用を進める中、その取り組みをステークホルダー（消費者、取引先、株主、地域社会など）に発信する必要性も高まっています。SDGsの達成には、人と人、企業と企業の連携や協力が必要不可欠であり、まずは「どのような取り組みをしているのか？」を相互に知り合うことが重要だからです。そして取り組みを発信することにより、環境省が示したSDGs活用のメリットをより享受できるようになると思われます。

【企業イメージの向上】

多くの人に「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より多様性に富んだ人材確保につながる。



【企業の生存戦略になる】

今後、SDGsへの対応がビジネスにおける取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営を行う戦略として活用できる。



【社会の課題への対応】

SDGsに網羅されている様々な社会が抱える課題への対応をすることで、経営リスクの回避とともに社会への貢献や地域での信頼回復につながる。



【新たな事業機会の創出】

地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかったイノベーションやパートナーシップを生むことにつながる。



※出典：環境省「すべての企業が持続的に発展するために - 持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」

SDGsへの取り組みを伝えることは、ステークホルダーからの信頼を得ることにつながるだけでなく、社内の理解促進にもつながります。そして、SDGs推進企業は、社会の公器としてSDGsを知らない消費者などを啓蒙する役割も担っています。「RADIO BERRY SDGs CONNECT」をご活用ください。



RADIO BERRY PROPOSAL

① ラジオCM放送

SDGsの啓発と貴社のSDGsへの取り組みをPR！

・ 貴社名入りSDGs普及啓蒙CM (40秒)

30本/月 × 6か月間

(PR文言 / SDGs取組内容 (仮名交じり35文字程度) + 貴社名)



CMイメージ (40秒)

JGL) RADIO BERRY SDGs CONNECT

NA) SDGs - 世界全体で達成を目指す17の目標。
7つ目の目標は「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」。

全世界の人々が電球を省エネ型に変えれば、
世界は毎年1,200 億ドルを節約できることになり、
CO2の排出も削減できます。

誰ひとり取り残さない未来のために、今、できることを。

【貴社名】 <RADIO BERRY> は、

【貴社取り組み内容】 ※仮名交じり35文字程度

< 健康経営による生産性向上、
省エネの推進、女性管理職比率の引き上げ > で、
SDGsに取り組んでいます。

JGL) RADIO BERRY SDGs CONNECT

※ 放送日、放送時間は局にご一任ください。
※ 当CMの初回制作費は料金に含まれます。文言・社名変更等、再制作の際は都度料金が発生します。

ご協賛料金

月額 **30,000円** (税別)

※ご契約期間：6か月から
※お申込みはCM放送、WEB掲載開始希望日の
1か月前までをお願いします。

② 特別番組



貴社の代表者またはご担当者様へ
インタビューする形式で、
貴社のSDGsへの取り組みをご紹介します特別番組です。

特別番組概要

番組名 ■ 「RADIO BERRY SDGs CONNECT」

放送日程 ■ 未定 (ご協賛社数により調整。決まり次第ご案内いたします)

出演 ■ 上岡 裕 (NPO法人 エコロジーオンライン 理事長)

御社のご紹介回数 ■ 1回



上岡 裕 ● 栃木県佐野市生まれ。
2000年3月、環境情報発信を手がけるNPO法人エコロジーオンラインを設立。
2018年、新エネ大賞新エネルギー財団会長賞、地球温暖化防止活動環境大臣
賞を受賞。インターネット事業を核に環境省、林野庁、ソニー、東京都など、
数多くの協働事業を手がける。マダガスカル支援を通じてSDGsの入り口と
なった貧困や飢餓の事業を手がけていることから、SDGsについての相談を
受けることが多く、2019年秋、地域SDGs推進ネットワークを創立。

③ WEB

RADIO BERRYのホームページに
当企画の特設ページを公開。
貴社のSDGsへの取り組みを掲載します。

掲載内容

- ・ 貴社企業情報
 - ・ SDGs取り組み内容
 - ・ 貴社HPへのリンク
- ※ 掲載期間 / 当企画ご協賛期間に準ずる



進行

- エコロジーオンラインのSDGs活動の紹介
アクション！SDGs
 - ①マダガスカル支援
 - ②SDGsラジオ
 - ③地域SDGs推進(#にゃんこSDGs)
 - ④東大との連携、視覚障がい者支援、ジェンダー平等...
- 皆様からのご質問、提案

SDGs歴史都市プロジェクトのご提案

<提案主旨>

新型コロナウイルスの感染拡大で、大規模イベントや人の移動が制限され、ツーリズムのあり方も見直されるようになりました。そうした状況下でも国連が掲げた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた学校、企業の取り組みは盛んに行われています。

SDGsについての議論が活発に行われている首都圏などと違って佐野市での具体的な取り組みは進んでいないように思えます。しかし、国連によってSDGsが推進するのに先んじ、田中正造について顕彰活動を実践して来たことは佐野市にとってポストコロナの地域づくりの資源ともなり得ると感じます。

持続可能な社会をつくるために、2030年までの達成目標を記したSDGsの存在意義を考えると、これから10年にわたってSDGsの話題は尽きることはありません。田中正造、そして佐野市が歩んで来た歴史のなかにSDGsを位置づけ、持続可能な社会をつくる「学び」を中心にしたツーリズムや交流人口の創出を手がけることは、財政的な負担も少なく佐野市の持続可能な都市としてのブランド力も向上させる近道であろうと考えます。

<具体的な事業>

- 1、佐野市郷土博物館、田中正造生家を活用した学び
- 2、企業、学校向けSDGs出張授業
- 3、社会課題解決を目指すソーシャルビジネスの創出
- 4、SDGsを啓発するイベント事業
- 5、同様の歴史を抱える他都市との連携

以下、参考資料

NPO法人エコロジーオンライン

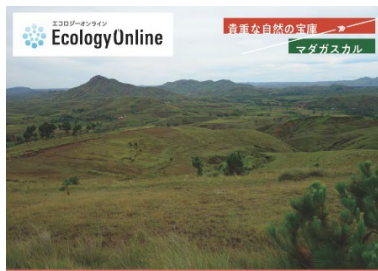
栃木県佐野市を中心に活動する環境保護団体。今年で創立20周年を迎えた。栃木県に生まれた田中正造が遺した「真の文明」の言葉を大切に活動をしてきた。

現在、「アクション! SDGs」をキャッチコピーに途上国支援を実践。外務省、JICA、国連などと連携して、マダガスカルの貧困、飢餓、クリーンエネルギーの開発、森づくりなど、幅広いSDGs事業を展開している。

長年にわたる地球温暖化防止活動が評価され、平成30年度には**環境大臣賞**を受賞。文部科学省と環境省が連携する**持続可能な開発のための教育(ESD)の地域活動推進拠点**として、全国的にESD活動の推進をサポートしている。

また、平成30年から2年にわたって環境省からの委託を受け、長野県で地域型のSDGs事業を展開。森林保護と障がい者雇用をつなぐ**林福連携事業**をプロデュース。その経験を生かして**地域SDGs推進ネットワーク**をつくり、栃木、長野、神奈川、宮城などの地域づくりに関わっている。

理事長の上岡裕は、**日本認知症予防学会**や、**長野県IoTデバイス事業化・開発センター**のアドバイザーを務め、九州工大や北九州市立大学とも協働、**女子美術大学**や杉並区が開校した**杉の樹大学**の講師をオンラインで務めている。



マダガスカルの森があぶない!
森林面積が10%以下に減少!

マダガスカルでは近頃「焼き畑農業」が行われ、森林が消失し、生物多様性が失われつつあります。また、森林減少に伴って土壌侵食も進んでいます。

その結果、現在の森林面積は10%以下となり、生物多様性の減少、砂漠化の進行、土壌侵食、砂漠化などが発生しています。

水が乾いた山や谷は「クマカ」という山間部を意味する言葉です。この「クマカ」によって農作物の収穫が減少しています。



Supported by UKC 株式会社 UKCホールディングス



マダガスカルの子どもたちに里山エネルギーを!

里山エネルギースクール

マダガスカルは世界の貧困国の一つとして知られ、人口の99%の人が1日1ドル以下での暮らしをしています。国を豊かに、貧困を解消するためには、自然を学び、活かしていく教育が必要です。

そのため、森を「学校」として子どもたちに自然を教える学校「里山エネルギースクール」を開校しました。

森のエネルギーとつながる自然エネルギーの活用を目的としたマダガスカル全境に開設していく予定です。日本のみなさんのご支援を受けて、森林環境教育のための紙本、文房具、自然エネルギー機器の寄付をしていただきますので、是非ご協力をお願いします。



Supported by UKC 株式会社 UKCホールディングス

貧困に苦しむマダガスカルから学ぶ「田中正造」とSDGs

【プログラムの概要】

エコロジーオンラインが「アクション！SDGs」の合言葉のもと支援活動を手がける **マダガスカル**は、アフリカ大陸の南東海岸部にある自然の美しい島国です。ところが 現在、圧倒的な勢いで森林破壊が進んでいます。森林破壊は人々の貧困に密接に関係しています。SDGsのゴール1は「貧困をなくそう」ですが、貧困がどのように森林破壊につながり、それがまたどのように貧困を加速させるのか。更に、日本をはじめとする先進国のライフスタイルに起因する温室効果ガスの増加がどのように彼らの飢餓に結びつくのか。このようなことを、マダガスカル中心にお話します。また、貧困を生み出さない社会をつくるため、明治時代に環境保護活動で活躍した**田中正造**の言葉『**真の文明**』を紹介して、その精神を学びます。



①SDGs出張授業

1. SDGsの説明（約10分）
2. エコロジーオンラインが手がけるマダガスカルでのSDGs実践活動を紹介（約20分）
3. 田中正造の言葉『真の文明』から持続可能な文明のつくり方を学ぶ（約15分）

*このプログラムは、当法人がマダガスカル支援活動を実践してきた経験を活かして、子供たちに持続可能な未来のために何をすべきか考えていただくものです。

貧困に苦しむマダガスカルから学ぶ「田中正造」とSDGs

②佐野SDGsフィールドワーク

9 : 30 ~ マダガスカルの事業を中心にSDGsの紹介 (60分)

11 : 00 ~ SDGs体験 (グループで選択) (1時間)
①佐野市郷土博物館で「田中正造」の学び
②佐野市国際クリケット場でスポーツを通じた「国際理解」の学び
③渡良瀬林産で「森づくり」の学び

12 : 30 ~ 昼食 (1時間)

14 : 00 ~ 各グループに分かれてディスカッション (1時間)
・学びのなかに見つけたSDGs
・課題解決のための工夫
・自分たちでできること

15 : 00 ~ 休憩 (20分)

15 : 20 ~ 各グループに分かれて発表 (30分)

16 : 00 ~ 他のグループの発表を聞いて全体の振り返り (30分)



誰一人取り残さない

“真の文明”を!



田中正造×SDGs×EOL20th

佐野市は‘SDGs歴史都市’
その核として地域SDGs推進ネットワークを設立

現状

SNS,YouTubeチャンネルは活性化されており、コンテンツの数も豊富。ファンとの関係を着実に築いている。

10:42

← 那須どうぶつ王国

ホーム 動画 再生リスト コミュニティ チ

那須どうぶつ王国
チャンネル登録者数 3.23万人
登録済み

アップロード動画

- 那須どうぶつ王国 オオカミの丘オープン
3635 回視聴 · 5 日前
- 国際レッサーパンダデー -2020
3078 回視聴 · 5 日前
- 【ホッキョクオオカミ】THE★遠吠え
2978 回視聴 · 5 日前
- 国内動物園唯一の展示 【ホッキョクオオカミ】兄妹2頭の公開…
9156 回視聴 · 1 週間前

ホーム 探索 登録チャンネル 通知 ライブラリ

← ツイートする

午後4:29 · 2019年3月21日 那須どうぶつ王国から · Twitter for iPhone

1.6万 件のリツイート 280 件の引用ツイート

4.3万 件のいいね

ホーム 検索 通知 14 送信

もどる すすむ アクション お気に入り ウィンドウ ホーム

アイデア

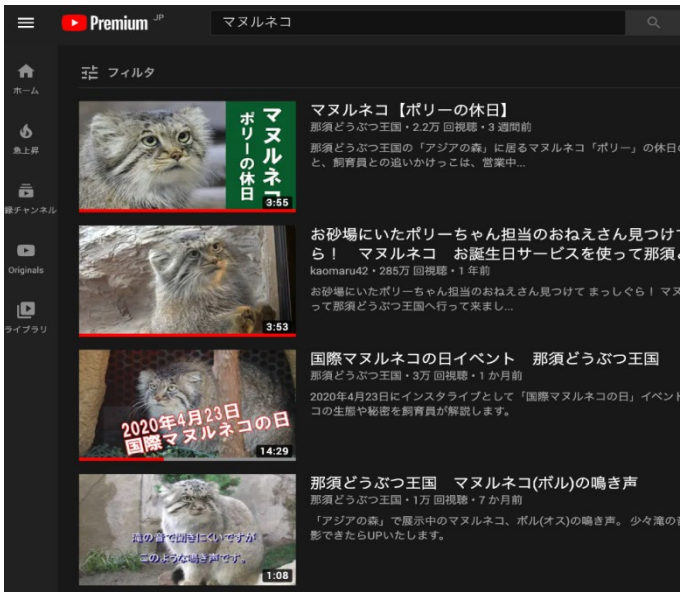
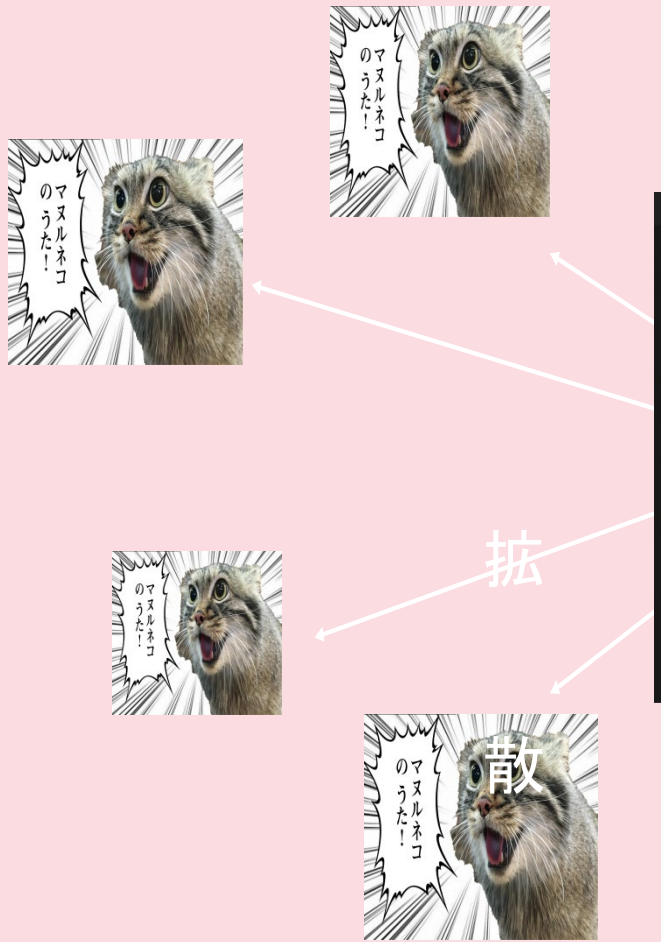


那須どうぶつ王国でしか撮れない映像素材を使った世界初のプロモーションビデオ。情報も歌詞に織り込みながら、マヌルネコの持つユニーク引き出した新しい映像で認知拡大、話題化を狙う。

狙うコミュニケーションモデル！

興味喚起：野生への扉（入口）

受け皿 YouTubeチャンネル 教育チャンネル開設



理解への受け皿 那須地域への教育旅行の誘致など 波及効果



Biodiversity conservation activity is our mission

レストランでは

全ての使い捨てプラスチック製品を廃止し紙製・木製に変更します。また、順次 FSC 認証製品に変更していきます。

売店では

石油由来のレジ袋を廃止し、サトウキビから砂糖を取った後の自然に優しいバイオマス製品に変更します。



使い捨てプラスチックの廃止

ヤマネコテラスでヤマネコ米のご飯を食べることで、ツシマヤマネコの貴重な餌場になる、環境に優しい水田を作る農家さんを、応援しています。また、ヤマネコ米の水田が増える事を応援します。

佐護ツシマヤマネコ米

那須どうぶつ王国の 保全への 取り組み

動物たちを守るために



シミュレーション展示



ボルネオ支援

生物多様性の宝庫、ボルネオ島が大規模なプランテーションにより環境破壊が進んでいます。ボルネオの野生動物を守る為動物の保護や技術支援を行っています。

保全の森

日本固有種を守る為、近縁種の飼育を通して繁殖・生態等のデータをとり、野生種の保護に役立つ技術の獲得を目指します。

守ろう！ライチョウ



特産するオス 写真9③

国の特別天然記念物

ライチョウが絶滅の危機に

瀕しています。1980年～2000年代の20数年で、約3000羽から約1700羽と44%も減少しました。



長尾つるするオス 写真9①



雪に3口動の雄と雌 写真9②

なぜ？ 生息数が減っているか

温暖化による
高山植生の変化

増加する
捕食者

里山の動物による
植生破壊

高山に生息するライチョウは、温暖化による高山植生の変化により生息域が狭くなっている。

ライチョウの餌である高山植物が、イネ科等の雑草で覆われている。 写真9④

サルに捕食されているライチョウ 写真9⑤

里山で農作業の持ち込みで、サルやオオカミが入り込む。また、裏山に生息するイヌも、ライチョウを捕食する。 写真9⑥

人が持ち込むゴミの管理不備

ナツメもライチョウを捕食する。〔全国の高山の監視カメラに、捕らえたナツメ〕 写真9⑦

雪の上昇に際して、ライチョウの生息域が狭くなり、生息域が狭くなっている。 写真9⑧

鹿やイノシシが高山植物を食べている。植生破壊（トリカブト等）が生かす。 写真9⑨

那須どうぶつ王国は、ライチョウの保護増殖事業に参画し、生息域外保全に取り組んでいます

飛騨地域「小さな拠点」ビジョン ～「小さな拠点」と「エコ・ワーケーション」～



「ヒッピコッピマッピ」
女子美術大学学生の
提案による飛騨活性化
キャラクター

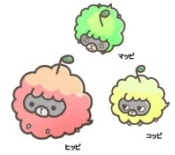


地域SDGs推進ネットワーク



<目次>

飛駒小跡地利用アンケートから見る住民意識	3 ページ
課題の分析	6 ページ
飛駒地区の持つ強み	7 ページ頁
元気な飛駒をつくる次のステップ	8 ページ
小さな拠点づくりと飛駒小学校の廃校活用ビジョン	10 ページ
小さな拠点づくり地域相関図	11 ページ



< 飛騨地区の持つ強み >

少子高齢化問題に苦しむ飛騨地域であるが、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式の普及によって、自然豊かな地域には新しい風が吹き始めている。首都圏から100キロ圏内にあり、クルマを活用すれば2時間程度で訪れることができる飛騨地域は新しいワークスタイルを求める人たちにとって魅力的な場だ。以下、飛騨地域の持つ強みについて考えてみたい。

① 自然豊かな農村環境

根古屋森林公園を中心に広がった自然豊かな農村環境が大きな魅力だ。新型コロナによって拡大したりモートオフィス、ワーケーション、ソロキャンプ等の受け皿として、佐野田沼インターチェンジから近い飛騨地域は佐野市のなかでもポテンシャルの高い地域として位置づけられる。空き家となっている民家も散見され、都市からの移住者がリノベーションして活用することも想定される。

② 環境共生型企業の存在

この地域には佐野市環境政策課のCOOL CHOICE 30 SAN0と連携する株式会社吉川油脂がある。新型コロナからの復興のテーマとされる「グリーンリカバリー」や、菅政権が打ち出した脱炭素政策とも活動が合致し、「サーキュラーエコノミー」を主導する地域として打ち出せるポテンシャルは十分にある。

③ 森林資源の有効活用

田沼にはCOOL CHOICE 30 SAN0と連携する企業として渡良瀬林産株式会社もある。2万棟の住宅施工実績を誇るコンチネンタルホームグループとして、渡良瀬川流域の山々から生まれる木材を加工・流通させ、再植林をし、森づくりに貢献する体制をつくっている。森から消費者までの一貫体制を持つ地域住宅メーカーはそう多くはない。気候変動による洪水などの多発から、都市住民の間で河川の流域を意識した活動も盛んになっている。吉川油脂とともにこの地域をグリーン経済で盛り上げる担い手になりうるだろう。。

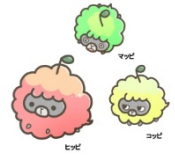


<元気な飛駒をつくる次のステップ>

飛駒の地域住民は地域活性化については概ね前向きだと言える。新しい事業を歓迎する声が多いのも事実だ。だが、地域の未来を支える事業を判断することにおいて、他の中山間地同様、得意というわけではない。環境破壊を生みかねない開発についても入り込む余地が残されている。日本全体が脱炭素で、グリーンエコノミーを目指すことを考えれば、今の自然や地域企業の取り組みを生かす形で飛駒の未来をつくりだすことがこの地域の健全な未来への近道と考えられる。すでに動き出している地域活性化プロジェクトも含めてアイデアを提供しておきたい。

①ワーケーション事業の導入

菅総理が言及したことによって全国区の話題となった「ワーケーション」だが、一般的な観光と混同している地域が目立っている。新しいコンセプトである「ワーケーション」に興味を持つ人はクリエイティブなライフスタイルを持つことが多い。彼らが重視するのは美しい風景ではなく、課題の解決に自分が貢献できるという価値だ。農業、林業、里山整備、復興支援、地球環境との共生等々、その地域が解決しようとしているものへの共感こそがその人たちを呼ぶきっかけとなる。そういう意味で課題を抱える地域がそれを訴えることで関係人口を増やすことができる。すでに根古屋森林公園との意見交換が始まっているが、キャンピングカーのユーザーを巻き込んで、1泊2日程度のイベントの企画が進んでいる。吉川油脂や渡良瀬林産と連携した地域課題の学び、農業体験などの実践、エコライブなどのエンターテインメントを柱にしてコロナ明けでの実施が検討されている。こうした事業を定期的実施することで関係人口が増える。その舞台となるのが現在のところ根古屋森林公園となる。そのためにも無線LANの導入などが不可欠となる。



<元気な飛駒をつくる次のステップ>

②循環型の地域づくりへのチャレンジ

関係人口を増やすためには地域のブランドづくりが重要となる。「話題の飛駒に足を運んでみたい」そう思わせられるかどうか成功の分かれ道となる。資金的に余裕があれば様々な施設を整備することも可能だが、佐野市の現状を考えるとそれは難しい。今あるものをネットワーク化し、時代に合ったコンセプトを持った地域として見せて行くことが重要になる。佐野市の環境政策課がつくった「佐野市環境ネットワーク会議」の主要メンバーだったエコロジーオンライン、吉川油脂、渡良瀬林産のネットワークを柱とすれば、環境省の予算で製作したCOOL CHOICE 30 SANOのリーフレットやビデオクリップをそのまま活用でき、すぐにでも全国区の訴求が可能となる。EUで話題になっている「サーキュラーエコノミー」の先駆者とも言える仲間たちであることから、佐野市の事業として「サーキュラーエコノミータウン」などの名をセットアップしてもらえれば飛駒での企業を検討する環境ベンチャーも増えるだろう。

<参考>

Yahoo! JAPAN、「カーボンニュートラル」をテーマにした企業版ふるさと納税の寄付先を国内初公募
<https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2021/01/21a/>

③SDGsビレッジとしての位置づけ

循環型社会づくりの取り組みとしてSDGsについても訴えやすい。この春からInterFMとレディオベリーでSDGsのレギュラーが始まるエコロジーオンライン、長く障がい者雇用に取り組む吉川油脂、中山間地の森づくりをとおして地域社会に貢献する渡良瀬林産、この3社が繋がればSDGsについての情報発信する体制が整う。2030年まではSDGsの取り組みが大手企業を中心に盛んに行われる。①②は個人や環境ベンチャーが対象となるが、SDGsを打ち出すことで大手企業への訴求が狙え、研修などの呼び水となるだろう。

＜小さな拠点づくりと飛駒小学校の廃校活用ビジョン＞



小さな拠点づくりにおいて地域の担い手となる団体をつくることが重要だ。この点について地域のリーダーたちと意見交換をしたが、すでに「飛駒地区むらづくり推進協議会」があるため、新たな団体は必要ないとの判断だった。ただ、現体制では高齢課の課題に対応ができない。そのため、協議会、各町内会長、エコロジーオンラインの3者が飛駒地区むらづくり協議会に集うことで課題の解決を目指すことになった。住民各位の意識が飛駒小学校の跡地利用にあることから、小さな拠点としての機能を民間中心に呼びかけて行くことが小さな拠点づくりの最初の一步であると思われる。以上の議論を踏まえながら、飛駒小学校の跡地利用について考えてみたい。

①半官半民(半非営利半営利)の枠組みの重要性

飛駒小学校の施設の利用にあたっては避難所やコミュニティスペースとしての活用が条件としてつけられている。また、市役所の産業立市課からは企業の研修施設として、いきいき高齢課からは高齢者の居場所としての利用の打診がある。民間の要望としては「温浴施設をつくりたい(篠崎グループ)」、「廃食油で発電したい」(吉川油脂)、「太陽光発電を設置したい」(株式会社アティク)、「学びの場として活用したい」(エコロジーオンライン)などの要望が出ている。循環型の地域づくりやSDGsをテーマに半官半民による共同運営をコーディネートすることで全国の廃校利用のモデルとして訴えることができるだろう。

②開かれた廃校としての活用

全国でワーケーションを手がける佐野市出身の「ワーケーションコンソーシアムジャパン」の相馬功氏から廃校の利活用自体もワークショップ型で全国の仲間たちからアイデアを募ることはどうだろうとの提案がされている。飛駒小学校の校舎と校庭を活用し、コワーキングスペースとしての機能を持たせ、モビリティで移動しながらワーケーションを楽しむユーザー向けのRVパークとしてのサービスを提供することなどもアイデアにあがっている。産業立市と連携した地域環境ベンチャーの育成なども手がけやすくなる、こうした取り組みで集客をすることが可能になると、買い物拠点が欲しい地域住民も活用できる店の運営を可能にし、移動の足を提供する事業も視野に入ってくる。



<小さな拠点づくり地域相関図>

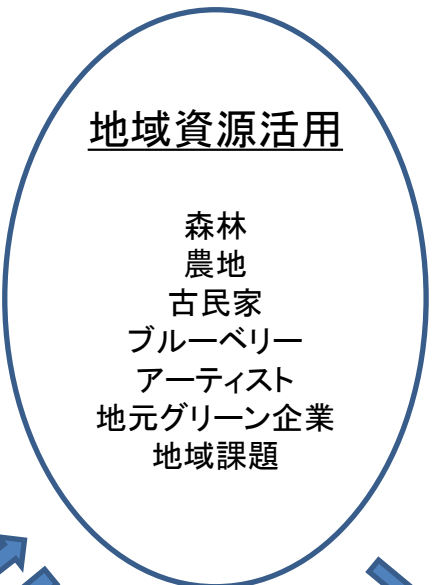
地域協働推進3団体
飛駒地区むらづくり推進協議会(住民)
飛駒町会連絡協議会(行政)
エコロジーオンライン(情報発信)



旧飛駒小学校



根古屋森林公園



官民連携で小さな拠点の中核として活用

<社会活用>

- ①高齢者の居場所として(いきいき高齢課)
- ②企業の研修の場として(産業立市課)
- ③避難所として(危機管理課)
- ④コミュニティスペースとして(地域)

<経済活用>

- ①RVパークとして
 - ②コワーキングスペースとして
 - ③サーキュラーエコノミーの実験場として
 - ④温浴施設として
 - ⑤訪問者向けのカフェやショップとして
- * 住民の活用も想定

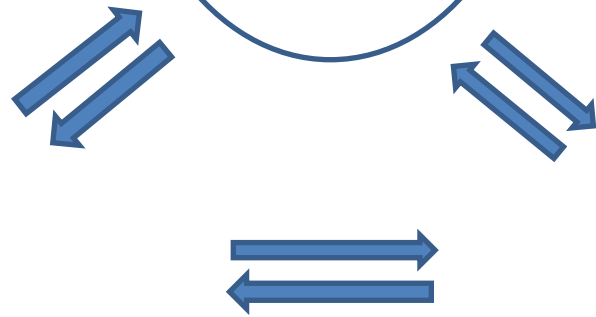
地域活性化拠点として関係人口の創出

<メイン事業>

- ①自然体験アクティビティ
- ②根古屋亭でのうどん、そばの提供
- ③飛駒和紙会館での伝統工芸体験
- ④クラインガルテンでの農業体験
- ⑤ワーケーション設備の提供

<イベント>

- ①キャンピングカーフェス
- ②ワーケーション体験会の実施
- ③たき火などの「火」をテーマにしたイベント
- ④花火大会など



進行

- エコロジーオンラインのSDGs活動の紹介
アクション！SDGs
 - ①マダガスカル支援
 - ②SDGsラジオ
 - ③地域SDGs推進（#にゃんこSDGs）
 - ④東大との連携、視覚障がい者支援、ジェンダー平等…
- 皆様からのご質問、提案